



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA -
 c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER
 Dojima Grand Bldg., 1-5-17
 Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN
 PHONE (06)344-1717

CENTENNIAL

Apr. 1984

II-10

THEME (1983~'84)

- I.P. REACHING OUT
 `手を差し伸べて`
- R.D. CREATIVE POWER
 `創造への熱情`
- D.G. 兄弟の愛をもって
- P. ONWARD CENTENNIAL
 PART II

▽「ワイズメネット」強調月間—〈日本区〉—

4月例会プログラム

- とき 4月18日(水) 18:30 ~ 20:30
 ところ 大阪YMCA会館 9階集会所
 司会 正司 泰子姉
- 開 会 山中会長
 - ワイズソング `Once More We Stand`
 - 聖句 朗読 皆本 勝久君
 - ゲスト紹介 山中会長
 - あいさつ 特別ゲスト 横山中西部長
 - 食前感謝「日々の糧を」 晩さん
 - 役員会報告 山中会長
 - スピーチ「メネットライフの喜びを語る」
 鈴木美藤メネット
 - メネットにインタビュー 藤井 保男君
 - 誕生日のお祝い 山中会長
 - ニコニコ・アワー 黒田 敏之君
 (聴覚障害青少年国際キャンプへの献金)
 - 委員会報告・YMCAニュース
 - 閉 会 山中会長
- ▲例会当番(川越・正司・藤本・皆本・山村)

▲ATTENTION PLEASE!!

- 横山中西部長の公式訪問の月です。盛大に歓迎いたしましょう。
- 「ワイズメネットの月」特別プログラムです。センテニアルメネットは会費無料でご招待。全員集合して下さい。なお、ご自慢のお手製クッキーなどあれば、是非お持ち寄り下さい。
- 会場は新築なった大阪YMCA会館(西区土佐堀1丁目)で、レストランのディナーを楽しみましょう。5ページの地図をご参照下さい。

Dead to Sin, Alive in Christ

For we know that our old self was crucified with him so that the body of sin might be rendered powerless, that we should no longer be slaves to sin -

わたしたちの古い自分がキリストとともに十字架につけられたのは、罪に支配された体が滅ぼされて、もはや罪の奴隷にならないためであることを知っています。(ローマの信徒への手紙 第6章6節)

▽誕生日おめでとう

- 長安美和子 メネット 4月4日
 柴田 健 君 1932年4月5日
 堀 新子 メネット 4月9日
 森田 誠 君 1954年4月11日
 柴田 暢子 メネット 4月11日
 西出 宏 君 1956年4月12日

▽結婚記念日おめでとう

- 桂 知良・晴子夫妻 4月3日
 柴田 健・暢子夫妻 4月6日
 横山 豊・和子夫妻 4月22日
 平田 雅利・由喜子夫妻 4月27日
 山村 幸明・利子夫妻 4月29日

3月例会 出席者 (在籍会員 34名)

	第1例会	第2例会	Make up	累 計
メ ン	21名	9名	1名	22名
出 席 率	61.76%			64.71%
メ ネット	2名			
コ ネット				
ヴィジター				
新 人	1名			
合 計	24名	9名		

- メネット 鈴木、山中各メネット
- 新 人 松本常晃君(堀君ご紹介)
- ニコニコ 17,000円(累計 156,020円)

○退会されました

中野 豊君、一身上の都合により退会されました。

今月の聖句によせて

黒田 敏之

来る4月22日の日曜日は今年のイースター（復活祭）です。キリスト教ではクリスマスと並んで、このイースターは大切な意味をもっています。なぜなら神の子キリストが人間の姿をとってこの歴史の中に生れてきたのがクリスマス（降誕祭）であり、そしてその33年の生涯を通して、その言葉と行動をもって、人間に神の意志を具体的に伝え（その生涯は神の愛と厳しさを教えるものでありましたが）、最後は、人間の罪をみずから背負って十字架の刑という苦難の死を遂げ、神の子であることを証明するために3日目に復活して、神の許へと帰ってゆかれたことを記念するのがイースターだからです。

私どもが、イエス・キリストこそは、人間の罪の許しをこうために我々に代って死に給うたこと、すなわちそこに示された限りない神の愛を信じ、受入れるとき、その罪が許され、新しい人生が開けることを端的に教えているのがこの聖句です。

ちなみに、イースターの日は次のように決められます。イースターは春分の日から数えて最初の満月に最も近くめぐってくる日曜日で、クリスマスのように定まった日ではありません。

奉仕センターで最後の例会 —— 3月例会

4月からは新築なった土佐堀YMCAを会場にすることとなり、センテニアルクラブ設立準備の頃から2年あまりお世話になった「国際・社会奉仕センター」での最後の例会を持った。メン・メネット共出席が低調で、これも今回限りとなる名物京弁当ばかりが目立ついささかさみしい開会であった。それでも、鈴木書記のリードでワイズソングを「Once More We Stand」と英語で歌い出せば、たちまちいつもの楽しい集いとなる。5月のハワイBC訪問に備えての練習である。

メインスピーチは川越利信君の「盲人情報文化センターの活動」。大正11年から日本で最初に組織的な盲人福祉を始めたという「日本ライトハウス」の「インストラクター養成、リハビリテーションセンター、点字出版、点字図書館、盲導犬の育成」など国内に止らずアジア地域までの幅広い活動の内容から、実際に街で出会う盲人の誘導エスコートの仕方までの紹介を聞き、目を開いている我々がこの問題について「盲目＝情報障害」的であることを思い知らされた。そしてセンテニアルクラブから「盲人情報文化センター」に寄金を贈って支援の気持を表わした。

続いて楽しいドア・ブライズ。杉本君、正司姉、鈴木メネットの賑やかな呼び声につられて、「キャーッ」とやら「アタリーッ」とやら叫び出す始末。童心にかえった一時に思わず時間を超過してしまったのであった。

なお4月からは第1例会を土佐堀の新館で、第2例会は堂島の奉仕センターで開催する。センテニアルの本拠は従来通り奉仕センター内におくことを確認した。

〈鋭視野・ASIA〉

飢え広がるアフリカ

干ばつ・伝染病・内戦

アフリカ大陸に飢饉が広がっている。直接の原因は南部アフリカを襲った50年ぶりといわれる大干ばつや家畜の伝染病だが、人口増加、農村人口の都市への流出、相次ぐ内戦などアフリカの社会、経済が抱える構造的要因が、食糧不足に拍車をかけている。

FAO（国連食糧農業機関）が1月に発表した調査報告によると、アフリカで深刻な食糧危機に直面している国は24ヶ国にのぼる。これらの国が84年に必要とする食糧輸入530万トンのうち、財政的に確保できるのは370万トンにとどまっており、約1億5千万人が十分なカロリーを摂取できなくなる見通しという。

特に食糧不足が深刻なのはチャド、モーリタニア、セネガル、オートボルタ、エチオピア、ソマリア、モザンビーク、ザンビア。これらの国々を中心にアフリカでは「空腹、栄養失調などで今年中に約500万人の子供たちが死に、さらに500万人の発育が著しく損なわれる可能性がある」（デクエアル国連事務総長）といわれている。FAOが食糧危機の理由としてあげているのは、干ばつ、家畜の伝染病、山火事など。

干ばつは広い範囲に及んでいるが、南部アフリカでは82年以降の降水量不足が今年も続いている。このため例えばジンバブエでは「多くの河川が干上がり、ダム貯水量は満水時の三割以下。各地で農作物が枯れかかっている」（同国政府農業専門官の報告）。

また西アフリカでは昨年、ハルマッタン風（アフリカ内陸部から西海岸へ吹く乾燥した熱風）が異常に長引き、山火事が相次いだし、東アフリカでもエチオピアだけで今年、460万人が干ばつの被害を受ける見込みという。一方家畜の伝染病では、60年代末に絶滅したとみられていた「リンダベスト」が80年に再発、ナイジェリア、チャドなどでまん延しつつある。各国ともこの死亡率の極めて高い病気の予防におおわらわだが、資金不足で思うにまかせない状況という。

（日本経済新聞より転載 — 続く）

△第2例会の記録 —— 3月28日(水) ——

1. 84年度聴覚障害青少年国際キャンプ（日本YMCA同盟主催）にオーストラリアから3名初参加の予定。これを支援すべく中西部を通じ献金の依頼あり。4月例会のニコニコをこれに充当する。目標35,000円。
2. YMCA新会館の竣工を祝って、センテニアルクラブより5万円を贈る。
3. 中野豊君は、この度転職され、事情により退会を申し出られ、承認した。これにより会員数は34名となる。
4. 和歌山紀の川クラブ設立総会には杉本君が代表で出席。
5. 3月例会のドアブライズは、売上21,500円で景品代金9,580円を支払い11,920円の残となった。これにクリスマスの残高29,000円を加えて別会計とし、杉本EMC委員長が管理することが承認された。

• THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL •

NEWS IN BRIEF

●中西部評議員会・EMC委員会より

①和歌山に紀の川クラブ誕生予定

4月15日(日) 設立総会

8月19日(日) チャーターナイト

和歌山クラブ、35周年。同メネット会、10周年記念。

②仙台の日本区大会の申込は550名。グランドラビッツの国際大会には17名。更に一層の参加をのぞむ。

③次々期日本区理事候補として大岡次郎君(大阪クラブ)が立候補されている。

④各クラブともEMC宣言目標の達成について、現状ではきびしい状況にあるが後半に何とか頑張る見込み。問題点として、メンバーの高齢化傾向、新メンバーの定着が難しい、例会プログラム内容の貧困などが報告された。

●BF切手整理の会で成果。

3月BF切手のべ切を控えて、去る2月26日(日)、肥後橋盲人情報文化センターで選別整理の会を催した。折からの冷雨の中、川越、田中、皆本、中村の各氏、黒田、鈴木、皆本、山田、山中メネット。それに山中コメットと友人の兼田嬢が参加され、夕方6時すぎまで精力的に選別作業が続けられた。ご苦労様でした。

●会員消息

▽谷川寛君。和歌山クラブの2月例会で「国際ワイズの動き」と題してスピーチされました。4月3日大阪サウス大会でもスピーチの予定。

▽山田孝彦君。転勤されました。大丸本社人事本部、南区西清水町8、御堂筋ビル(06-281-1252)

▽山中秀男君。大丸本社営業本部国内業務部、南区西清水町8、御堂筋ビル(06-245-1236)

〈世界を考える〉

PQLI(生活の質指数)をご存知ですか?

各国の経済成長を計る「ものさし」として一般に使われている経済指標にGNPがあります。しかし、GNPだけではその国の人々の生活の質はわかりません。そこで考え出されたのが、PQLI(Physical Quality of Life Index)一物質面の生活の質指数です。

この指標は、世界の貧困や不平等などを比較考慮に入れて作られたもので、生活の質は各国の国民所得、国民の健康状態、きれいな水の入手の有無、食物、国民の教育の程度、住宅事情などにより大きく変わります。

このPQLI(生活の質指数)は、世界の人々の基本的ニーズが各国でどの程度満たされているかを考慮して、その国の物質面の豊かさを計ろうとするものです。その国の平均寿命、幼児の死亡率、文盲率なども、このPQLIに反映されています。

谷川 寛

このPQLI指数および一人当たりGNPでみた世界55ヶ国のランキングは次の通りです。このランキングでお解りの通り、一人当たりのGNPの低い国が必ずしもPQLI指数が低いとは限りません。

各国の生活の質の程度をみたい時、このPQLI指数でみた方が、その国の人々の社会福祉のレベルがどの程度に進んでいるかなど、よくわかります。

ご存知のように、スイス、米国などはGNPでは日本よりはるかに高い国ですが、PQLI指数でみた場合、日本はこれらの国を追い越し、なんと55ヶ国中、スウェーデンについて世界第二位に位置しています。

この数字、みなさんはどのように判読されますか?
(近着YMCA WORLD COMMUNIQUE 「貧困との戦い」より)

55 Countries Ranked by PQLI

Rank by PQLI	Per capita PQLI	GNP						
1. Niger	13	132	18. Algeria	41	780	41. Guyana	85	559
2. Upper Volta	16	99	19. Egypt	43	245	42. Trinidad and Tobago	85	1,867
3. Afghanistan	18	137	20. India	43	133	43. Israel	89	5,579
4. Somalia	19	111	21. Iran	43	1,260	44. U.S.S.R.	91	2,380
5. Gabon	21	2,123	22. Bolivia	43	332	45. Italy	92	2,756
6. Senegal	25	355	23. Libya	45	4,402	46. Australia	93	5,449
7. Mozambique	25	333	24. Indonesia	48	203	47. Germany, Fed. Rep.	93	6,507
8. Ivory Coast	28	506	25. South Africa	53	1,205	48. German Dem. Rep.	93	3,710
9. Saudi Arabia	29	3,529	26. Turkey	55	789	49. France	94	5,585
10. Tanzania	31	154	27. Peru	62	701	50. United States	94	7,024
11. Zaire	32	136	28. El Salvador	64	432	51. United Kingdom	94	3,658
12. United Arab Emirates	34	14,368	29. Brazil	68	912	52. Canada	95	6,527
13. Bangladesh	35	92	30. Thailand	68	318	53. Switzerland	95	8,569
14. Haiti	36	176	31. China, People's Rep.	69	300	54. Japan	96	4,146
15. Papua New Guinea	37	460	32. Philippines	71	342	55. Sweden	97	7,668
16. Kenya	39	213	33. Mexico	73	996			
17. Kampuchea	40	70	34. Chile	77	1,137			
			35. Venezuela	79	2,171			
			36. Sri Lanka	82	179			
			37. Yugoslavia	84	1,341			
			38. Jamaica	84	1,037			
			39. Bahamas	84	3,284			
			40. Cuba	84	640			

Source:

「Measuring the Condition of the World's Poor: The PQLI」, Morris D. Morris, ODC, Pergamon International Library, 1979.

• THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL •

§ MY ONE PICTURE ・一枚の写真 §

ワイズ交友録Ⅳ

KEN SUZUKI



This picture is Ray Seto and his lovely family. They sent us regularly the same type of picture greetings each Christmas. He is devoted Y's man from Kaimuki club, Honolulu, Hawaii. He has served Y'sdom in many ways on Local, Regional, and International. I still keep pleasant memory to have worked with him together especially on International Brother Clubbing in 1975 when he accepted first International Service Director of IBC after the Convention in Atami, Japan 1975 where I was elected International President. With him I met in 1965 at Fredericton, N. B. Canada and since then keeping close contact. He is a business-man widely experienced. His family is all handsome, and affectionate, he is Chinese-American, though his surname suggests Japanese-American, while Mrs. is from Portuguese, I heard. They have four childs, as the picture shows, last two boys are twin. Through this nice picture of wonderful Y's family, I like to send my warm greetings to all the Hawaiian Y'smen and their family, admiring their distinguished contribution to the International Convention at Honolulu 1966 and Pacific Convocation which were marvellously carried out to the top success. May I quote the names of Hawaiian Y'smen whom I had pleasure of acquaintance for years either dead and alive. K. F. Lum, Roland Sagum, Dick Funai, Sam Tanimoto, Milton Hakoda, Teruo Yoshida, James Ouchi, and Chad Love. Thank you, folks, you were really great. This bulletin of Osaka Centennial may be mailed to Nuuanu Y'smen's club before our delegates visit Hawaiian Regional Convention this May. Hope my and club's warmest greetings reach everyone of you. Thank you, and Aloha.

§ 一枚の写真 §

台北にて、ニーハァオ

横山 豊



仕事の関係で日本と台湾を行ったり来たりしています。昨年の5月には、アジア大会に運よく出席することが出来とてもよい経験をすることができました。

台北では、アルファクラブとセントラルクラブに御邪魔しております。アルファクラブは、台湾では、一番古いクラブで、かなり年輩の方が多く、ドクターとか会社の社長さんとかえらい方々が多くおられます。一方、セントラルクラブは、まだ若いクラブで、メンバーも比較的若い人、30代~40代の方々が多く、今もっとも活発に活動しているクラブの様に見受けられます。僕もちょうど同じ世代なので、楽しく参加させてもらっています。

例会に出席して一番困るのは、言葉です。台湾行きしてから、もう一年半過ぎるのですが、今だに謝謝(シェーシェー)、您好(ニーハァオ)どまり、アルファクラブの方は皆さん、日本語がとても上手で問題ないのですが、セントラルクラブの方々は、あまり日本語を話されません。だから、日本語を話されるメンバーの側にすわって、いちいち説明して頂くのですが、1/5ぐらいしか理解することが出来ません。というのは、時々むずかしい言葉が、日本語に翻訳できなくなるからです。また皆さん、とても活発に討論され、説明して頂く人まで説明そっちのけで、討論に参加されるので、まったくわからなくなります。ゲストのスピーチにおいては、半分の時間はスピーチ、残りの半分は討論形式で、皆さんいろんな質問をされます。愉快的質問もどんでんで楽しいものです。

先日、資金集めのオークションに参加しました。サンゴのネックレスを買いました。とにかく、皆さん資金集めは熱心です。輸出商品の残りを集めてきたり、自分の会社の商品を売りさばいたりしておられます。台湾はまだ、日本ほど青年の娯楽施設や医療施設が、完備されていず、ワイズメンズの方々が熱心に活動し、サポートされています。

例会の写真がありませんので、アジア大会で写した写真を紹介します。

尚、アルファクラブは第1木曜日、セントラルクラブは第2木曜日に台北YMCAセンターで例会が行なわれます。台北に行かれることがありましたら、御一緒に参加しましょう。再見(タイチェン)さよなら。

・ THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL ・

§ 一枚の写真 §

これは一体何処？

谷川 寛



そうです。現在、森・松添両兄が一所けんめいPRをしている5月のハワイ区大会の会場の絵はがきです。会場はハワイ、マオイ島のインターコンチネンタル・ホテルです。この絵はがきと、ホテルのプロシユアをマオイのワイズメンでハワイ区のRD、W・オリカサ氏が送ってくれました。

絵はがきの説明では、大会会場のこのホテルは、ワイリア・ビーチにあり、36ホールズのゴルフ場と、14のテニスコートがあり、4つのすばらしいレストランがあると、宣伝しています。このホテルはマオイ空港まで25分、ホノルルからは20分のフライトです。ホテルのどの部屋からも太平洋の青い波が見えます。これを見たらさらに参加者が増えることでしょう。

——< YMCA ニュース >——

▽協力会費によるプロジェクトとして実施されましたマレーシア・サラワク協力奉仕セミナーは今回も大きな成果をおさめて去る3月26日無事帰国いたしました。なおその報告会が4月28日に奉仕センターで開かれますので、どうぞご来場下さい。

▽日本YMCA同盟の塩月総主事がこの程任期満了に伴い退任され、その後任に、これまで東京YMCAの総主事であられた斉藤総衛氏が4月1日付で就任されましたのでお知らせいたします。また、神戸Yの今井、広島Yの相原両総主事も退任され、4月より小谷、福井両氏が総主事に就任されました。

▽昭和59年大阪YMCA定期会員大会が5月21日、YMCA会館で開催され、シンガポール・台北より帰任の瀬川、井上両君から報告が行われます。どうぞご期待下さい。なお、台北YMCAとこの程兄弟YMCA締結することになり、去る3月3日締結式がYMCA会館で行われました。

関西合同メネット会ご案内

大阪YMCA創立100年の記念事業として立派なYMCA会館が完成しました。そこで各クラブのメネットの皆様にご覧頂きたいとの主旨から下記のとおり関西合同メネット会を開催致します。特に今回はわがセンテニアルメネット会は豊中、千里のメネット会とともにホスト役をつとめますので万障お繰り合わせの上全員ご参加をお願いいたします。(山中ちあき)

記

日時 昭和59年4月20日(金) 11:00~15:00
 会場 大阪YMCA会館(下記略図)
 西区土佐堀1-5 06-444-2700
 会費 3,000円
 講演 「成人病と健康診査」 菱川 晋三郎氏
 (千里クラブ会長・吹田市医師会副会長)



YMCA 協力会費納入について

ワイズメンズクラブ、日本区定款第2条、第3項に「個人的にもまた協同のわざとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する」と規定されており、わがセンテニアルクラブの会則にも明記されております。又正会員の資格として「YMCAの会員であること」がうたわれております。

既にYMCAの関係者である方以外は、大阪YMCAの協力会員に登録することが、ワイズメンとしての必要条件であることを思い出して下さい。

YMCAより登録申込書が皆様のお手許に届いていることと思います。支援ご協力のお申し込みをお忘れなく、よろしく願います。

☆
 ワイズは北に向って
 ☆
 1984年6月2日土▶3日日

第39回 日本区大会は仙台です

(第二次登録切 4月30日まで)

メ	ン	26,000円
メ	ネ	25,000円
コ	メ	10,000円